
日本放送協会 理事会議事録

(2019年 6月 4日開催分)

2019年 6月21日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2019年 6月 4日(火) 午前9時00分～9時05分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、板野専務理事、
児野専務理事・技師長、荒木専務理事、松原理事、黄木理事、
中田理事、鈴木理事、松坂理事、正籬理事
今井特別主幹、坂本特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 第1331回経営委員会付議事項について

2 報告事項

(1) 技研公開2019実施結果について

(2) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 第1331回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

6月11日に開催される第1331回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として、「平成30年度業務報告書の構成および今後のスケジュールについて」と「平成30年度年金基金の状況」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 技研公開2019実施結果について

(放送技術研究所)

2019年度の放送技術研究所（技研）公開の実施結果について、報告します。

今年の技研公開は5月28日～6月2日で、そのうち30日～6月2日の4日間是一般に公開しました。来場者は6日間を通して、昨年より1,202人多い、2万1,702人でした。

今年は、「ワクからはみ出せ、未来のメディア」をテーマに、8Kスーパーハイビジョンに続く将来の新しい映像表現技術として、画面から飛び出したり、画面の枠を取り払ったりしたような3DテレビやAR・VR技術の放送応用に焦点をあてました。

順路の始めとなるエントランスには、直径11m、高さ4mで180度の視野を覆う大画面スクリーンに、3台の8Kカメラで撮影した高精細なVR映像を投影しました。ご覧いただいた方からは、「映像に包み込まれて、その場所にいるような感じがする」、「自分がどこにいるか忘れるような気がする」といった感想をいただきました。

このほか、視点を追従するインテグラル3D映像、ARを活用したテレビ視聴スタイルや2030～2040年ごろのメディア技術など、「NHK技研3か年計画（2018－2020年度）」で紹介している

将来のメディア技術のイメージを、具体的にご覧いただきました。

展示全体を通じては、「既存のテレビ画面の枠を越えていこうという意気込みが感じられた」、「8Kの次の技術ビジョンが良く出ていた」といったご意見をいただきました。

また、30日には、稲美昌彦氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）と塩入諭氏（東北大学電気通信研究所所長・教授）による基調講演を行いました。31日には、「ラボトーク」と題して、技研職員が、映像やデモンストレーションを工夫して研究発表を行いました。聴講者からは「難しい研究内容でもわかりやすく、楽しかった」などの感想をいただきました。

来場者アンケートの結果やいただいた幅広いご意見などについては、今後の技研運営、研究計画に役立てていきます。

（2）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の2019年4月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2019年 6月18日

会 長 上 田 良 一